

私たちの中の

「健常」幻想と向き合う

～相模原障害者施設殺傷事件から考える～



日時：平成29年10月7日（土）

13時30分～15時30分

入場無料（受付開始：13時00分）

会場：市川市男女共同参画センター7階 研修ホール

演者：原 昌平さん

手話通訳・要約筆記・
磁気ループ・車椅子席あり

（読売新聞大阪本社編集委員、精神保健福祉士）

平成28年7月26日未明、相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」で起きた、悪夢のような大量殺傷事件。被告人は「障害者は不幸しか作れない。いないほうがいい」などと主張していると伝えられています。しかし、その思想と社会の状況をたどってみると、私たちが抱えている「健常＝幸福」という幻想がみえてくるのではないのでしょうか。

読売新聞編集委員の原昌平さんと一緒に、このテーマについて考えてみませんか。どなたでも、お気軽にご参加ください。

参加申し込み：裏面の申込書をFAXもしくはメールでお送りください。

問合せ：市川市障害者支援課

電話：047-712-8512

FAX：047-712-8727

<原昌平さんプロフィール>

1959年、大阪府生まれ。82年、読売新聞大阪本社に入社。京都支局、社会部、科学部デスクを経て編集委員。96年から医療と社会保障を中心に取材。精神科医療・医療事故・臓器移植・感染症といった医療問題、ホームレス・生活保護をはじめとする貧困問題、非正規労働の問題などに取り組み、社会的弱者の側に立った報道を続けている。相模原事件では発生直後から、事件の本質が差別思想であることを発信してきた。精神保健福祉士、社会福祉学修士、大阪府立大学客員研究員。ネットの「ヨミドクター」のページに「原記者の医療・福祉のツボ」を連載中。

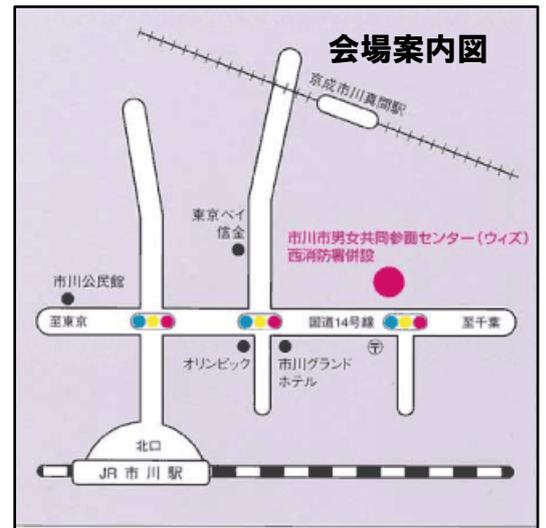
FAX

(送信票は不要です。このまま送信してください)

送信先 市川市障害者支援課

FAX: 047-712-8727

メール: shogaishashien@city.ichikawa.chiba.jp



参加希望者

氏名	住所	電話・FAX等	備考
			送信者

※車椅子・手話通訳・要約筆記・磁気ループ等の配慮が必要な方は、備考欄にお書きください。